

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスこっこと。		
○保護者評価実施期間	2024年 2月 1日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2024年 2月 1日		～ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 11日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	LINEを始めとした、様々な媒体による豊富な連絡手段があり、こまめに連絡を取ったり、気軽に相談したりしやすいこと。	ご利用者様が連絡しやすい方法で連絡していただき、それに柔軟に対応できるようにしている。	今後も子供に関する情報を積極的に連絡、共有し、日々の成長の共有を綿密に行っていく。
2	子どものことを第一に考え、療育的な観点からのアプローチを行うことで、子供たち自身が楽しんで通うことができること。	専門療育担当者をはじめ、様々な資格を持つ職員がそれぞれの知見から、特性の理解や目標の設定を行っている。	担当者会議などを適宜開催し、それぞれの職員がどのような視点から療育を行っているのかを共有して療育に活かしていく。
3	多種多様なイベントを毎月企画し、飽きさせないイベント運営を行っていること。	運動、調理、工作、プログラミングなどのイベントを毎月盛り込み、楽しみながら様々な体験ができるよう工夫している。	職員全員で意見を出し合い、子どもたちに様々な経験をしてもらえるよう常に新しいイベントを模索していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用回数を増やしたいというご希望にこたえられない場合が多いこと。	多くの児童を受け入れており、また継続的に利用したいと希望されるご家庭が多いため、ご利用枠に空きがない状態が続いている。	年度末の時期に利用者の方々に連絡をし、利用枠を調整してなるべく多くの方が利用できるように調整していく。
2	職員の異動等が多く、人員の入れ替わりが多いこと。	新店舗の開店が定期的であり、そのたびに人員の入れ替えが起きてしまうことが要因。	異動等に際して、あらかじめご家庭等に挨拶を行い、早い段階で伝えることでギャップを埋める。
3	保護者同士での交流など、外部の人間が施設の活動に参加する機会が少ないこと。	プライバシー保護の観点等から、地域の住民の方を招待する活動などの計画が難しい。	保護者参加型のイベントの企画を行い、保護者同士のつながりも作りたい。